

但馬地域公共交通計画の施策推進のための主な取組予定（令和 6 年度）

1. 兵庫県	1
施策⑳ バス運転手・タクシー運転手確保に向けた PR 活動の実施	
2. 豊岡市	2
施策㉓ 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施	
施策㉔ 公共交通への利用転換の意識啓発（モビリティ・マネジメントの実施）	
3. 養父市	3
施策⑤ デマンド型交通の導入	
施策⑨ 新技術を活用した移動手段の検討	
4. 朝来市	4
施策③ バス路線の再編・再構築	
施策⑤ デマンド型交通の導入	
5. 香美町	5
施策③ バス路線の再編・再構築	
施策⑥ タクシーの活用	
施策⑯ 駅待合環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善	
6. 新温泉町	7
施策㉓ 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施	
7. 全但バス	8
施策⑭ 鉄軌道車両、バス車両、タクシー車両のバリアフリー化	
施策㉒ MaaS の導入検討	
施策㉔ バス運転手・タクシー運転手確保に向けた PR 活動の実施	

基本施策 9.公共交通を担う人材の確保

施策⑳ バス運転手・タクシー運転手確保に向けたPR活動の実施

バス・タクシー運転手確保に向けた取組

1. バス運転手の魅力発信・広報の展開

- ① 県バス協会と共同で啓発ポスター作成(R5年度)
 - ・「地域に欠かせない存在」としてのバス運転手のやりがいや魅力をPR
 - ・関係機関庁舎やバス車内等で掲示予定(3,000枚程度)
- ② 公共交通関係の情報発信ツールとして公式Instagramを開設
 - ・各事業者、自治体等の利用促進イベントや取組等を発信

主な投稿内容(バス)	関係事業者等
バスドライバー合同就職説明会	県バス協会(参加企業:12社 来場者:55名)
バス大集合in名谷駅	尼崎交通・山陽バス・神姫バス・本四海峡・淡路交通
バス運転士体験会	阪神バス・神姫バス・全但バス
阪急バスグループお客様感謝Day	阪急バス・阪神バス・阪急タクシー
サンテレビ「ひょうご発信」の取材	神姫バスグループ

※イベント等については事前告知



HYOGO_KOUTSU



2. 地域公共交通事業者の人材確保支援

公共交通ネットワークを維持するため、人材確保に取り組むバス・タクシー事業者の第2種免許取得費用等の一部を支援(R6年度～)

基本施策 10.公共交通の利用促進

施策③② 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施

「乗って守る！竹野駅ペイ」の実施

<事業内容>

- JR山陰本線利用促進策創出ワークショップからの創出策として、2023年度に引き続き実施。JR竹野駅の売上増加と地域振興を目的に、竹野駅での切符購入者に購入金額に応じ竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券（100円/1枚）を配布する。今年度は山陰本線沿線の自治体と連携を目指し、協議を進める。

<実施期間> 2024年4月1日～2025年2月28日

<配布予定枚数> 30,000枚 ※予定枚数に達した時点で終了

<2023年度実施状況>

配布枚数 20,000枚

実施期間 2023年8月～2024年2月中旬

換金額 1,880,200円

換金率 94%

竹野駅での乗車券類等販売実績

2023/2022比較	8月 142.0%	9月 128.3%	10月 149.0%	11月 151.7%	12月 136.6%
	1月 124.9%	2月 84.7%			
2023/2019比較	8月 98.5%	9月 71.5%	10月 149.7%	11月 111.5%	12月 133.7%
	1月 72.1%	2月 82.6%			



基本施策 10.公共交通の利用促進

施策③③ 公共交通への利用転換の意識啓発（モビリティ・マネジメントの実施）

トライやるウィーク交通費支援

<概要>

- JR山陰本線利用促進策創出ワークショップの創出事業。
- 小中学生が公共交通に乗る「きっかけ」づくりや「地域の公共交通に対する問題意識の喚起」を目的に、市内の中学2年生が実施するトライやるウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際に公共交通を利用し、利用した公共交通の費用支援を実施。
- 豊岡南中学校の生徒が体験活動先として、JRを利用し竹野地域の宿泊施設へ行くのは初めての取り組み。

<利用状況比較>

【全但バス利用】

【JR利用】	令和6年度	306,640円	
令和6年度	62,500円	令和5年度	191,300円
令和5年度	5,750円		
【市営バス利用】	令和6年度	17,650円	
令和5年度	10,900円		

トライやる・ウィーク学校別延べ利用者数一覧

単位：延べ人

	JR	全但バス	市営バス	合計
豊岡南中学校	14	9	0	23
豊岡北中学校	0	9	0	9
城崎中学校	0	1	0	1
竹野中学校	0	1	1	2
港中学校	0	1	1	2
出石中学校	0	7	0	7
日高東中学校	8	10	0	18
日高西中学校	0	12	0	12
但東中学校	0	11	6	17
合計	22	61	8	91

基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入

施策⑤ デマンド型交通の導入

養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム事業

- 事業内容** 養父市関宮地域では、路線バス、コミュニティバス、自家用有償運送事業（やぶくる）、タクシーが運行しているが、必ずしも地域ニーズに応える交通体系にはなっていない。将来にわたり持続可能な公共交通を地域住民の乗車体験を通じて検討するため、令和5年度に引き続き**デマンド交通実証実験を行う**。（地域交通共創モデルプロジェクト）
- 実施時期** 10月～11月（40日間）
- 実施主体** 養父市、NPO法人但馬を結んで育つ会、全但バス株式会社、NPO法人養父市マイカー運送ネットワーク、社会福祉法人養父市社会福祉協議会、一般財団法人日本自動車研究所、セイノーホールディングス株式会社
- 実施結果** デマンド車両 利用延べ人数259人（令和5年度結果 対象エリア人口の約1割）
- <効果>
- ・将来の公共交通のあり方を地域住民に自分事として考えていただく機会になった。
 - ・今後は、乗車体験を通じた地域住民の意見等を踏まえ、デマンド交通の実装に向けて取り組む。
 - ・利用者の声
 - 「予約する手間をかけてでも希望する時間に送迎をしてくれるのはとても便利」
 - 「バスでは時刻表の都合で普段行きにくいエリアでもデマンド交通を使えば気軽に行くことができる」
- <課題>
- ・実装に向けては複数回の実証実験が必要。交通事業者、地域住民、各種団体を交えた議論を継続する必要があること。

基本施策 3.新たな運営方法を用いた公共交通の導入

施策⑨ 新技術を活用した移動手段の検討

自動運転バス実証事業

- 事業内容** 養父市の地形的特色から、日常生活や業務活動に伴う移動の大半を自動車や路線バスに頼らざるを得ないが、人口減によりバスやタクシー事業者においても運転手不足が深刻化している。そこで高齢者の移動手段の確保やバス等の運転手不足などを踏まえ、その対応策の1つとして令和6年度は自動運転バスの導入について検討を進め、ほかの公共交通維持対策事業とともに、持続可能な公共交通体系の構築に向けて取組を進める（地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業））
- 実施時期** 11月～2月（4か月間）
- 走行ルート** JR八鹿駅-道の駅 ようか但馬蔵
- 利用料** 無料
- 自動運転レベル** レベル2
- 運転者** 同乗
- 実施体制** 養父市、BOLDLY（株）、全但バス（株）
- 使用予定車両** MiCa（エストニアAuveTech社 定員8名(運転者含む)）



基本施策 1.地域路線の再編

基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入

施策③ バス路線の再編・再構築

施策⑤ デマンド型交通の導入

朝来市デマンド型乗合交通の導入

<これまでの取組状況>

- 新たな公共交通体系の構築に向けた市民アンケート調査や公共交通ワークショップ、まちづくりフォーラム等を実施し、得られた市民意見を基に、令和5年12月に朝来市地域公共交通網形成計画に基づいた第3次再編指針を策定。

<今年度の取組予定>

- 第3次再編指針に基づいて段階的（3つのエリアに区分）にデマンド型乗合交通を導入するとともに路線バスの再編を検討、実施。

○生野エリア 令和6年4月1日～ 試験運行開始

○朝来エリア 令和6年10月1日～ 試験運行開始

○和田山・山東エリア 令和7年4月1日～ 試験運行開始

※各エリアとも6か月間の試験運行を経て本格運行開始。

<今後の検討方針>

- 段階的に実施する試験運行の結果等を分析し、本格運行に向け課題の把握、改善点等の検討を行う。
- 路線バス（幹線）との接続向上を図り、幹線の維持・充実に向けて路線バスの再編協議を行う。



生野エリアで運行開始したデマンド型乗合交通



利用案内（冊子）

基本施策 1.地域路線の再編

施策③ バス路線の再編・再構築

小代地区へのデマンド型交通の導入

<現状>

- 現在、小代地区で運行している町民バスは定時定路線の形態で運行を行っています。

<課題など>

- 一部路線において利用者数が低迷している。
- 利用を希望する時間帯にバスが運行していないなどの理由があるため利用者の利便性が損なわれている。

<導入内容>

- 小代地区で運行している町民バスをデマンド型交通にすることで、利用者の利便性の向上を図る。

<導入の時期>

- 令和6年10月から導入



基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入

施策⑥ タクシーの活用

障害者手帳等所有者へのタクシー割引事業の実施

<取組状況>

- 障害者手帳等所有者へのタクシー割引事業の実施

<事業概要>

- 助成対象者 身体障害者手帳等所有者
- 助成金額 助成対象者が町内で利用したタクシー料金の半額を助成
- 利用実績 792件<令和5年度実績>
- 利用者の声
「買い物などで日常的に利用するので非常に助かる」
「ほかの公共交通と違い家の前まで利用できるのがありがたい」

<課題>

- タクシー会社の営業所がない地域では利用者が少ない
- 利用者数が減りつつある

<今年度の取り組み>

- 引き続き助成制度を運用し交通弱者の移動支援を行う

施策⑯ 駅待合室環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善

駅待合環境の改善

<取組状況>

- 香住駅の待合環境の改善と地元住民の鉄道利用の意識を醸成し、鉄道の日常利用の増加と駅の賑わい創出を目的にピアノを設置するとともに、「ステーションライブラリープロジェクト」を実施している。

<事業概要>

- 待合室利用者が自由に利用できる「駅ピアノ」を設置
- 香住駅待合室に設置した本棚にプロジェクト参加者が思い入れのある本や誰かに読んでもらいたい本を持ち寄り「ステーションライブラリー」を設置し、駅利用者と地域住民とのつながりをつくるプロジェクトを行っている。

<令和5年度の取り組み>

- 県立香住高校生によるカフェなどを開設するイベントに多くの人を訪れ、賑わいの創出となった。

<今年度の取り組み>

- 香住駅とほかの駅とのつながりづくりについて検討を進めていく



基本施策 4.公共交通を安全安心に利用できる環境の整備

全但バス

施策⑭ 鉄軌道車両、バス車両、タクシー車両のバリアフリー化

低床化車両の導入

<取組状況>

- 保有車両95台のうち、49台に低床化車両（ノンステップ）を導入済（低床化率51.58%）

<効果>

- 高齢者等の利用者の安全性が確保できた
- 利用者の声
「乗り降りがスムーズになって利用しやすくなった」
「買い物等で日常的に利用するので助かる」

<課題>

- 導入経費が高額であること

<次年度の取組予定>

- 国、県の補助を受け、車両購入費用を縮減しながら、引き続き低床化車両の導入を進める



基本施策 6.公共交通の利便性の向上

全但バス

施策⑳ MaaSの導入検討

MaaSアプリとの連携

<実施期間>

令和6年2月1日～令和6年3月31日（2ヶ月間）

<事業概要>

JR西日本のMaaSアプリ「WESTER」からオンデマンドバスの予約ができる実証実験を実施。

<料金>

1,200円～4,000円／人（最大6名乗車）

<運行区間>

城崎温泉駅⇔出石（全但バス出石営業所）

<運行実績>

47人（31運行）



WESTER「予約」より予約受付中！

シンプル操作で簡単予約！

※注意※ 貸切のため、人数は必ず「1」を入力してください
「1」より大きい数を入力すると予約できなくなります



基本施策 9.公共交通を担う人材の確保

施策⑳ バス運転手・タクシー運転手確保に向けたPR 活動の実施

バス運転士募集説明会・体験会の実施 定住促進の取組

<取組状況>

- ・実施日：①令和5年 6月17日（土）
 - ② 7月16日（日）
 - ③ 9月10日（日）
 - ④ 11月11日（土）
 - ⑤令和6年 3月10日（日）※女性限定
 - ⑥ 3月24日（日）
- ※但馬地域外の参加者には定住促進の取組について説明
- ・場 所：但馬空港ターミナル駐車場
 - ・参加機関：ハローワーク、田舎暮らし倶楽部、
但馬ふるさとづくり協会、
あさご暮らし応援室、養父市ジョブサポ

<効果>

延べ59人参加
バス運転士経験者の方も一定数あり、採用につながれば即戦力となる。

<課題>

- ・定年退職運転士の補充
- ・若年層の運転士の採用が極めて少ない

<次年度の取組予定>

- ・次年度以降も関係機関と連携して実施を検討する。

